

ACECAD®

スマートフォン対応
DigiMemo Bluetooth 送信機

ユーザーガイド

BTX-100

準備	1
<i>Bluetooth</i> 送信機のペアリング	1
DigiMemo Express ソフトウェアを 電話機にインストールする	1
デジタルパッドの電源を入れ 作業モードを選択する	2
書き込みモードと <i>DHW</i> ファイル	2
<i>Bluetooth</i> モード.....	2
デジタルパッドの電源を切る	2
<i>Bluetooth</i> モードでの自動シャットダウン	2
DigiMemo Express ソフトウェア	3
<i>DHW</i> ファイルリスト.....	3
<i>DHW</i> ファイルを閲覧する	3
キャプチャ機能	4
MMS で送信 (Send via MMS)する	5
メールで送信 (Send via e-Mail)する	5
電話機への保存.....	6
自動及びフレームキャプチャのファイル名	6
既定のファイル保存フォルダ	6
トラブルシューティング	7
仕様	7

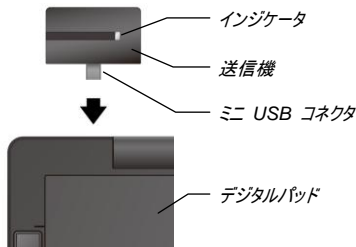
準備

Bluetooth 送信機のペアリング

スマートフォンで本送信機をご利用になる前に、まず電話機との間でペアリングを行う必要があります。

送信機を電話機とペアリングする

1. DigiMemo のデジタルパッドの電源がオフになっている場合、ミニ USB コネクタで送信機をデジタルパッドに接続してください。



2. 送信機のインジケータが速く点滅するまで、デジタルパッドの電源ボタンを長押しします (約 5 秒間)。
3. 電話機ของผู้指南的 Bluetooth デバイス追加方法を参照しながら、電話機を準備してください。送信機のデバ

イス名は **BTX-100** です。送信機のパスコード (0000) を入力してください。

4. ペアリングが完了すると、送信機のインジケータランプが点滅から点灯に変わります。

DigiMemo Express ソフトウェアを電話機にインストールする

1. 電話機をコンピュータに接続してください。電話機付属の USB ケーブルをご利用になることをお勧めします。
ヒント: コンピュータへの接続方法については、電話機ของผู้指南的を参照してください。
2. 電話機の OS に基づき、送信機付属のソフトウェア CD から電話機に関連性のあるファイルをコピーします。

- Symbian S60 電話機

For Symbian S60 フォルダの
DMExpress_s60.sisx

- Symbian UIQ 電話機

For Symbian UIQ フォルダの **DMExpress_uiq.sis**

- Windows Mobile 電話機

For Windows Mobile フォルダの
DMExpress_wm.cab

3. 電話機でインストールファイルを選択し、インストールを始めてください。

4. 電話機の指示に従い、DigiMemo Express ソフトウェアのインストールを完了してください。

ヒント! インストールファイルのその他の転送方法及びソフトウェアのインストール方法については、電話機のユーザーガイドを参照してください (ダウンロードのほか、MMS や e-Mail の添付ファイルとして受信することもできます)。

デジタルパッドの電源を入れ 作業モードを選択する

書き込みモードと DHW ファイル

送信機が接続されていない状態でデジタルパッドの電源を入れると、デジタルパッドの作業モードは**書き込みモード**になります。ディスプレイがオンになり、デジタルパッド番号、ストレージデバイスのアイコン、時刻が表示されます。



書き込みモードでは、デジタルパッドで書き込んだすべての内容がすぐにキャプチャされ、現在の**デジタルページファイル (DHW ファイル)** に保存されます。

ヒント! 詳しくは DigiMemo のユーザーガイドを参照してください。

Bluetooth モード

Bluetooth モードでは、**Bluetooth** 接続を通してデジタルパッドを電話機に接続することができます。

デジタルパッドを **Bluetooth** モードに切り替える

1. ミニ USB コネクタを使い、送信機をデジタルパッドに接続します。
2. ディスプレイがオンになるまで、デジタルパッドの**電源ボタン**を長押しします。これで、デジタルパッドの作業モードは **Bluetooth** モードに切り替わります。



画面には **Bluetooth** アイコン **BT** が表示され、送信機のインジケータランプが点灯に変わります。

ヒント! **書き込みモード**で送信機をデジタルパッドに接続すると、作業モードは自動的に **Bluetooth** モードに切り替わります。

メモ! **Bluetooth** モードでは、デジタルパッドでの手書き入力
はキャプチャ及び保存されませんのでご注意ください。

デジタルパッドの電源を切る

ディスプレイが消えるまで、**電源ボタン**を長押しします。

ヒント! **Bluetooth** モードでデジタルパッドから送信機を取り外すと、デジタルパッドの電源が切れます。

Bluetooth モードでの自動シャットダウン

ご利用の電話機が 15 分間以上デジタルパッドのデータにアクセスしない場合、デジタルパッドはピープ音を鳴らし、自動的にシャットダウンします。

DigiMemo Express ソフトウェア

ヒント! 電話機の仕様によっては、電話機の機能キーやナビゲーション機能を使ってズーム、スクロール、回転、参照などの操作を行うことができます。**#** または ***** キーを押して拡大・縮小する操作は、物理的な数字キーボードでのみ利用可能です。

DHW ファイルリスト

1. 電話機で **DigiMemo Express** ソフトウェアを選択し、起動します。



ヒント! インストールされたソフトウェアの保存場所については、電話機のユーザーガイドを参照してください。

電話機の OS により、電話画面の下に表示されるソフトウェアのメニュー名はオプション、その他、またはメニューになります。

2. DHW ファイルを選択する場所を、**デジタルパッド (Digital Pad)** または **フォンフォルダ (Phone Folder)** のいずれかから選択してください。
 - **フォンフォルダ (Phone Folder)** は、デジタルパッドから電話機へ DHW ファイルを保存する際に使う既定のフォルダです。保存方法については、以下の電話機への保存 セクションを参照してください。
3. **デジタルパッド (Digital Pad)** オプションを選択した場合、**Bluetooth** モードであれば、電話機はデジタルパッドと接続されます。接続が確立すると、送信機のインジケータランプの点滅が遅くなります。
内蔵ストレージデバイスに対しては、**DMEMO-M** フォルダを選択してください。また、デジタルパッドのオプションの

SD メモリカードを使用している場合は **DMEMO-S** フォルダを選択してください。

メモ! 電話機で複数の送信機 (BTX-100) をペアリングすると、使用時に送信機を選ぶよう指示が表示されます。

4. 電話機の画面に **DHW ファイルリスト**が表示されます。

ヒント! ファイルをマークするには、メニューの**マーク (Mark)** を選択してください。

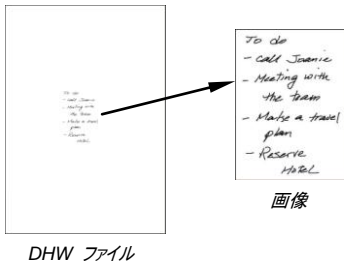
DHW ファイルを閲覧する

1. **DHW ファイルリスト**でファイルを選択し、開きます。または、メニューで**開く (Open)** を選択し、マークされたファイルを表示します。
2. **DHW ビューア**で DHW ファイルを閲覧することができます。
 - 拡大表示・縮小表示するには、**1 ~ 6** の数字キーを押してズームレベルを調整します。
 - または、**#** と ***** キーを押して拡大・縮小することもできます。
 - 次の (または前の) マークされた DHW ファイルを閲覧するには、メニューの**次のページ (Next Page)** または **前のページ (Previous Page)** を選択します。
 - 電話機の仕様によっては、機能キーまたはナビゲーション機能を使用してページを拡大・縮小したり、スクロールしたり、DHW ファイルを1つずつ表示したりすることができます。

キャプチャ機能

MMS / e-Mail を経由して DHW ファイルを画像 (JPG) として保存したり、送信したりする場合は、以下のキャプチャオプションを選択する必要があります。

- **自動キャプチャ (Auto Capture)** —DHW ファイルから手書きの部分だけを自動的にキャプチャする機能です。



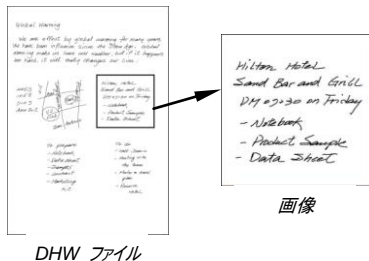
ヒント! 自動キャプチャ (Auto Capture) を使うと、メモやメッセージを簡単に小さなサイズの画像へと圧縮することができます。

ヒント! 付箋メモと自動キャプチャ (Auto Capture) 機能を使うと、小さな手書き画像を MMS / e-Mail ですばやく送信することができます。または、手書きメモを小さな画像ファイルとして電話機に保存し、後から閲覧したり、送信したりできます。

ヒント! 自動キャプチャ (Auto Capture) でキャプチャ可

能な最小範囲は、用紙上で 2" x 2" (50.8 mm x 50.8 mm) です。

- **フレームキャプチャ (Frame Capture)** — このオプションを使うと、現在のページをスクロールしながら、電話画面に表示される赤い固定フレームを使って任意の手書き部分を選択できます。



ヒント! 赤い固定フレームでキャプチャされる範囲は、用紙上で 3" x 3" (76.2mm x 76.2mm) の大きさです。

メモ! フレームキャプチャ (Frame Capture) は、選択またはマークされた DHW ファイルリスト1つに対してのみ、または DHW ビューアの現在のページに対してのみ利用できます。

- **全ページ (Full Page)** —DHW ファイルの全ページを画像としてキャプチャします。

MMS で送信 (Send via MMS)する

メモ! まず、ご利用の電話機で MMS を使用できることを確認してください。

メモ! 送信する MMS メッセージのサイズが、ワイヤレスサービスプロバイダの指定する許容範囲内であることを確認してください。

MMS で送信 (Send via MMS) は、**キャプチャオプション**を使用して DHW ファイルを画像 (JPG) として保存し、新規作成された MMS に挿入します。選択またはマークされた **DHW ファイルリスト**1つに対してのみ、または **DHW ビューア**の現在のページに対してのみ利用できます。

1. **DHW ファイルリスト**または **DHW ビューア**で、メニューから **MMS で送信 (Send via MMS) > 自動キャプチャ (Auto Capture)**、**フレームキャプチャ (Frame Capture)**、または **全ページ (Full Page) / 現在の全ページ (Full Current Page)** を選択します。
2. **自動キャプチャ (Auto Capture)** または **フレームキャプチャ (Frame Capture)** では、# または * キーを押すとキャプチャした画像を拡大・縮小表示することができます。
メニューの **送信 (Send)** を選択します。
3. 新規 MMS が作成され、手書きのメッセージが添付されます (挿入画像)。

メモ! 新規 MMS を **MMS で送信 (Send via MMS)** から直接作成できない場合は、ご利用の電話機がこの機能をサポートしていない可能性があります。この場合は、以下の「電話機への保存」セクションを参照し、まず DHW ファイルを画像として電話機に保存してから、新規 MMS に添付してください。

メールで送信 (Send via e-Mail)する

メモ! まず、ご利用の電話機で e-Mail を使用できることを確認してください。

メールで送信 (Send via e-Mail) は、1つ、または複数の DHW ファイル (手書きメモ) を JPG (画像)、PDF、または DHW 形式で新規作成した e-Mail に添付することができます。

1. **DHW ファイルリスト**または **DHW ビューア**で、メニューからメールで送信 (Send via E-mail) を選択します。
2. 手紙メモを保存するファイル形式を、以下の中から選択します。

● JPG

自動キャプチャ (Auto Capture) — # または * キーを押してキャプチャした画像をズームできます。複数の DHW ファイルをマークした場合は、キャプチャした画像を1枚ずつ閲覧することができます。最後にメニューで **送信 (Send)** を選択してください。

フレームキャプチャ (Frame Capture) — # または * キーを押してキャプチャした画像をズームできます。次にメニューで **送信 (Send)** を選択してください。

全ページ (Full Page) — 選択またはマークされた DHW ファイルを画像として添付します。

● PDF

選択またはマークしたすべての DHW ファイルは PDF ファイルに変換されます。マークされた複数の DHW ファイルに対しては、PDF ファイル名を変更してから **送信 (Send)** を選択することができます。

- **DHW**

選択またはマークした DHW ファイルを添付します。受信者は、Windows 向け DigiMemo マネージャをダウンロードするか、スマートフォン向けの DigiMemo Express を ACECAD ウェブサイトからダウンロードし、ファイルを開くことができます。

URL: <http://www.acecad.com.tw>

3. Windows Mobile フォンについては、任意の e-Mail アカウントを選択してください。
4. ファイル (手書きメモ) が添付された新規 e-Mail が作成されます。

電話機への保存

名前を付けて保存 (Save as) を使うと、DHW ファイル (手書きのメモ) を JPG (画像)、PDF、または DHW 形式で電話機に保存し、後から閲覧したり、メッセージとして送信したりすることができます。

1. **DHW ファイルリスト**または **DHW ビューア**で、**名前を付けて保存 (Save as)** を選択します。
2. 手書きメモを電話機に保存する際に使用するファイル形式を以下から選択します。

- **JPG**

自動キャプチャ (Auto Capture) — 選択またはマークされた DHW ファイルを画像形式で保存します。

フレームキャプチャ (Frame Capture) — # または * キーを押してキャプチャした画像をズームできます。次にメニューで **保存 (Save)** を選択してください。

全ページ (Full Page) — 選択またはマークされた DHW ファイルを画像として保存します。

- **PDF**

選択またはマークしたすべての DHW ファイルは PDF ファイルに変換されます。マークされた複数の DHW ファイルに対しては、PDF ファイル名を変更してから **保存 (Save)** を選択することができます。

- **DHW**

選択またはマークした DHW ファイルを電話機に保存します。

自動及びフレームキャプチャのファイル名

自動キャプチャまたはフレームキャプチャで取り込み、保存された画像 (手書きメモ) のファイル名は

Memo_yymmdd(s).jpg となります。yymmdd 部分には日付が入ります。(s) は、1日のうちに取り込まれた画像のシリアルナンバーで、(1) ~ (999) の数字となります。

既定のファイル保存フォルダ

ユーザーが指定したファイル形式に基づき保存されたファイルは、既定フォルダに次のように保存されます。

メモ! 電話機にメモ리카ードが挿入されている場合、メモ리카ードに以下の既定フォルダが作成されます。カードが挿入されていない場合、電話機内蔵メモリに既定フォルダが作成されます。

- JPG **DigiMemoMy Memo**
- PDF **DigiMemo**
- DHW **DigiMemoMy Handwriting** (DigiMemo Express ソフトウェアの **フォンフォルダ (Phone Folder)** を選択すると、**My Handwriting** フォルダを開きます。)

トラブルシューティング

トラブル: Bluetooth 接続を通して、デジタルパッドと電話機の間で接続を確立できない。

解決策: 以下のことを確認してください。

- 電話機で Bluetooth 接続を有効にしてください。
- デジタルパッドを **Bluetooth** モードに切り替え、送信機のインジケータランプがしっかりと点灯しているかどうか確認してください。
- デジタルパッドと電話機の距離は 10 メートル (33 フィート) 以内であり、両者の間に壁や障害物がないようにしてください。
- 複数の送信機 (BTX-100) を電話機とペアリングした場合、指示に従って適切な送信機を選択する必要があります。
- 送信機と電話機のペアリングが完了していることを確認してください。

トラブル: 自動キャプチャ (Auto Capture) 機能を使用すると、キャプチャした画像の手書き部分の横に大きな空白ができてしまう。

解決策: この機能を使うと、手書きでメモしたデジタルインクすべてが DHW ファイルにキャプチャされます。読み取りたい部分から離れた場所に、わずかな点やページ番号などが書かれていると、大きな空白が取り込まれてしまう可能性があります。

仕様

サイズ	1.62" (W) x 0.98" (L) x 0.30" (T) 41.2 mm (W) x 24.8 mm (L) x 7.6 mm (T)
重量	7.6 g (0.017 lbs)
電源	接続時デジタルパッドより給電
スマートフォンの要件	Bluetooth ワイヤレス機能搭載、Symbian S60 3rd /5th Edition (3.x / 5.x) / UIQ 3.x または Windows Mobile 5 / 6 の OS を搭載。
デジタルノートパッドの要件	ACECAD DigiMemo L2 または A402

Federal Communications Commission (FCC) Radio Frequency Interference Statement

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment to an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

The user should not modify or change this device without written approval from ACE CAD Enterprise Co., Ltd. Modification could void authority to use this equipment.

Trademark Information

ACECAD is a registered trademark of ACE CAD Enterprise Co., Ltd.

The *Bluetooth* word mark and logos are registered trademarks owned by Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by ACE CAD Enterprise Co., Ltd is under license.

All other trademarks are the property of their respective owners.

Copyright Notice

©2009 ACE CAD Enterprise Co., Ltd. All rights reserved. No part of this publication may be reproduced, stored in a retrieval system, or transmitted, in any form or by any means (electronic, mechanical, photocopying, recording, or otherwise), without the prior written permission of the publisher.

Part Number: 91100-41300
Japanese Version v1.20
Printed in Taiwan 2009.09